

## 「きっず仮装祭 2008」イベントレポート

去る 7 月 27 日(日) PUMP1 号店できっずコンペ「きっず仮装祭 2008」を開催しました。

対象は、小学生以下～中学生まで。

今年で 3 回目の開催となるきっずコンペ。特徴は、仮装をすること。スタッフも参加者の皆さんも段々、仮装を楽しんできている？かな？

さて今年のコンペは、今までと少し趣向を変えてクラス分けはレベルで分けました。

ビギナークラス、ミドルクラス、マスタークラス、エキスパートクラスと分かれ、ロープクライミングとボルダリングの総合成績で最終順位を決めるというもので、ルートはディフィカルティーの 1 競技、ボルダーはセッションとランジの 2 競技で行い、合計 3 競技での総合成績としました。(ちなみに総合成績の算出のしかたは、各競技の順位を合計し、合計値が 1 番低い人を優勝とする方法で行いました)

当日は、例年に比べ参加人数は少々少なめですが、24 名のエントリーをいただきました。

Pump 系列以外のジムからも参加も多々、いただきとても嬉しく思いました。



今回は、ゴールドウィン社様より多数の賞品を提供していただきました。



競技は、ロープクライミングから。



ロープクライミングは各クラス 1 本のトップロープ方式。

ビギナークラス及びミドルクラスは、きつコンペということで今年も尾上彩によるデモンストレーションが行われました。

ミドルクラス及びエキスパートクラスは、初のオンサイトトップロープ方式。

5 分間のオブザベーションタイムをみんな、フルに活用してルートの下見を行いました。



エキスパートクラスのオブザベーションタイムの様子。

さてルートのコースはどうなっているかという各クラス下記のとおり。



ビギナークラスは、トップロープ壁を下から上までまっすぐ抜けるコース。マントル・プッシングなどムーブを要求される 1 本。設定は、浅田史樹が行いました。

ミドルクラスは、ウェーブ右からほこら、そしてダイヤモンドの右側までいくロングコース。多様な傾斜をどう力をセーブして登るかが見所の 1 本。今回のコンペで 1 番、手数が多いルートだったのではないのでしょうか。設定は、高本憲孝・林真也が行いました。

マスタークラスは、富士山から sora 左を使いまた富士山に戻るコース。吊り輪ホールドを使って壁を移動するのが最大の見所の 1 本。そして核心は終了点手前の悪いホールドの処理。設定は、山竹哲史が行いました。

エキスパートクラスは、奥壁から戦艦に抜ける 1 本。最大傾斜ばかりの壁をどう力をセーブして登るかが最大の見所。設定は伊藤達也が行いました。

奮闘に奮闘を重ねる子ばかりで応援にも力が入る、入る。大人顔負けのパフォーマンスを

みせてくれました。年々、子供達の実力が上がってきていると感じました。



その後はお昼タイム。



スタッフもお客さんからの差し入れを頂き午後の体力をつけます！

休憩後は、ボルダリング競技です。

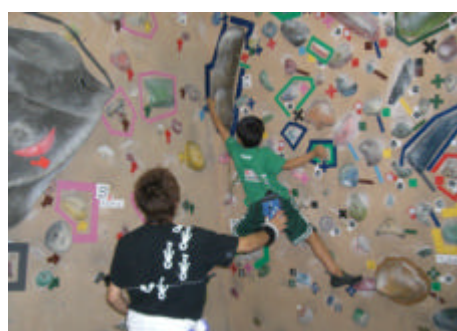
課題には、難易度別にポイントが設けられており参加者は自分の登りたい課題を自由にトライするセッション方式でセットは、P1 スタッフで行いました。

競技時間は50分を2ラウンド。選手のレベルが多様なため難易度は10級から初段まで合わせて70個以上の課題を選手は汗だくになりながら何回も何回もトライしていました。

子供達のあきらめない強い気持ちに圧倒されました。

そんな子供達の登りを見ているスタッフ及び保護者の応援にも段々、力が入っていきます。そして完登してもらえると嬉しくて。

壁の傾斜は、1Fは垂壁に近い傾斜・2Fはスラブに近い傾斜からルーフまで。スタティックなムーブ・パワフルなムーブと多種多様なムーブ・力が要求されるものばかりでした。





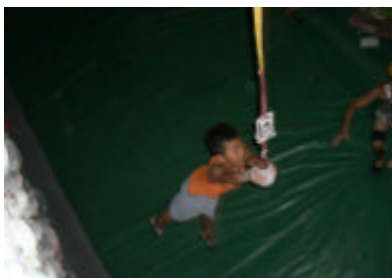


ボルダーセッション終了後は、ランジ競技です。

設定者は、みんな知ってますよね？ランジといえばこの人でしょう。Mr.こと伊藤達也。

課題は、 から まで高さの異なる課題を設定しました。番号があとになるにつれ難易度が上がっていきます。

各課題にそれぞれポイントが設定され 3 トライの中で止まった番号の合計ポイントで順位がつくというもの。



1番盛り上がったのは吊り輪ホールドをとめる課題。  
みんな恐怖心なんのそのバシバシ飛んでいきます。

各クラスの上位入賞者は以下ようになりました。

ビギナークラス

優勝 田中聖志

2位 猪岡翔

3位 小山創平



ミドルクラス

優勝 波田悠貴

2位 宮内祐真

3位 彼ノ矢陸



マスタークラス

優勝 沼尻千璃

2位 大高伽弥

3位 是永つぐみ



エキスパートクラス

優勝 是永敬一郎

2位 木村優斗

3位 野村真一郎



上位入賞者にはゴールドウィン様より協賛いただきました賞品と賞状が送られました。  
また上位に入れなかった選手にももれなく賞品と賞状が手渡されました。  
詳しいリザルトはHP（PUMP1 ニュース）をご覧ください。

今回で3回目となるきつず仮装コンペ、いかがだったでしょうか？  
参加者のみなさん及び保護者のみなさん、一日がかりのコンペとなり大変お疲れ様でした。  
運営中、至らない点多々あったと思います。この反省を来年にいかしさらにパワーアップしよりよいイベントになりますよう頑張りますの来年も宜しくお願いいたします。  
これからのクライミング界を担っていく子供達のためにこのようなイベントを毎年開催していければと思っております。また来年、お会いしましょう。



最後になりますが、協賛をいただきましたゴールドウィン様にはこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。

2008年7月 PUMP1号店店長 中原未来